

「現行の健康保険証を残してください」請願署名の 全国的な推進と宣伝行動のお願い

中央社会保障推進協議会
事務局長 林 信梧

日々の社会保障を守り推進する活動に敬意を表します。

政府は2023年6月に、現行の健康保険証を2024年秋に廃止し、マイナンバーカードを一本化する法案を可決成立させました。しかし、誤登録や情報漏洩、「資格無効」と表示される等、マイナンバーカードでの受診によるトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えています。また、健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民のいのちと健康が脅かされています。

医団連と中央社保協の合同での署名を作成いたしました。中央社保協のホームページでもダウンロードできますのでご活用ください。8月の2週目にでも各県社保協に発送をいたします。

記

■ 全国で保険証廃止の撤回を求め運動をすすめましょう！

1. 中央社保協のホームページより署名のダウンロードができます。ご活用ください。
<https://shahokyo.jp/20230802-4/>
※ 保団連・日本医労連・全日本民医連バージョンがあります。
2. 8月第2週に各県社保協宛てに100枚ずつ署名を発送します。必要な枚数がありましたらご連絡いただけましたら必要枚数分発送します。(署名無料)
3. 全国各地での更なる宣伝を広げていきましょう。
中央でも8月10日(木)に医団連・中央社保協の合同で上野駅にて宣伝予定です。全国各地でもさらに広げましょう。
4. 「『健康保険証の廃止』撤回を求める意見書」を全国の自治体で採択させよう！！
総会アピールでも確認しましたが全国の自治体での保険証廃止の撤回を求めましょう。

以上